

令和6年度 第1回 総合教育会議 会議録

開催日時	令和6年7月2日（月）午後1時25分から午後2時40分				
開催場所	本庁舎 602・603会議室				
会議出欠状況	市長	相馬 憲一	出席		
	教育長	篠山 充	出席		
	教育委員	小林 朋子	出席	川上 聖子	出席
		深澤 道昭	出席	森 泉	出席
		渡邊 英憲	出席		
	事務局	教育部長	君島 敬	教育総務課長	羽石 剛
		学校教育課長	小室 和徳	学校教育課 指導主事	浅羽 一裕
		教育総務課 教育施設管理担当	黒崎 晃一	教育総務課 (事務局)	遠山 多恵
		教育総務課 (事務局)	藤田 有未子		

次 第

- | | |
|---|---------|
| 1 開 会 | 午後1時25分 |
| 2 あいさつ | 市 長 |
| 3 議 題 | |
| ① 児童生徒数減少の現状と課題等について
大田原市内小中学校の施設及び設備の状況 | |
| ② 小学校社会科副読本について | |
| 4 その他 | |
| 5 閉 会 | 午後2時40分 |
| 6 会議要旨 | 次のとおり |

○市 長

先送りしてきた施設改修等の解消に向け、予算を確保し修繕していきたいと考えております。

コロナ交付金を使って、学校トイレの洋式化を進めてまいりましたが、現在は避難所となる体育館の洋式化が課題となっております。更に、体育館の築年数が経っていますので建て直すべきか、という話もですが、児童の数も減ってきているため、複合的な課題となっております。学校統合を含めて地域の皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと考えております。

○深澤委員

統合を進める中で、地域に学校を残したいという意識で進めてきましたが、新しい方は小さい学校への抵抗感があるとのことですね。

○渡邊委員

人口流出の話となりますが、地元では、同級生がいないのならば外へ出よう、との考えが大きくなっていると思います。どうしても出ていけない方のみが残っている状況です。

心の中では統合もやむを得ないと思う一方、先送りできるのであれば先送りしたいという雰囲気があります。先ほどの説明のような統計資料を提示し、そろそろ考えませんか、と問いかける時期かと思えます。

また住民は、内心では新しい体制が必要と思っても最初に言い出しにくい状況もあるので、行政から現状をアナウンスした上でどうしますか、とソフトに考えてもらえるようにしてみてもどうでしょうか。

また、特例制度の検討もしていただければと思います。

須賀川地区からだと、那珂川町や太子町へ行く方が近い場合もあることを踏まえ、ぜひ、行政同士で進めていただければと思います。

また、給食室の状況を見ると、HACCP 遵守となった場合非常に厳しい状況だと思います。学校統合を含め、先の方針も考える必要はあると思いますが、平行して修繕・建て直しも検討していただければと思います。

○小林委員

自校給食のおいしさについては以前から聞いていましたが、給食室の状況から調理は厳しいと感じました。ただ、自校給食でなくなること寂しさも感じます。

○川上委員

今はスクールバスが運行され、遠くから通うことも可能です。さらに遠くから通うようになった時、始業時間を変更するなど、少しアイデアを出してもいいのではないのでしょうか。

将来に向けて、柔軟な対応も必要になってくると思います。

○森委員

想像以上に人口減少が進んでいると感じます。前回（平成26年度）の統廃合の答申から徐々に統廃合が進んできましたが、より人口減少が進むとなると更なる統廃合はやむを得ないのではないかと感じています。

地域に子どもがいなくなると地域はしぼんでしまいますが、必ずしも学校のあるなしではないかもしれない、ということをご丁寧に説明する必要があると思います。まさに、今進めている地域学校協働本部がそういったことなのではないかと思っています。

○市長

皆様からの貴重なご意見ありがとうございます。

地域に住みながら学校へ通える仕組みがあるといいと思います。

また、給食室の課題については、食品衛生の厳しさや HACCP の状況を確認しながら考えてまいりたいと思います。

他に何かございますか。

○黒崎教育施設管理担当

参考までに、近年新設されました那須塩原市の箒根学園についてお伝えします。既存施設改修と新設とがあり、体育館が新設で7億円、その他合計で19億円の費用がかかっています。現在、小中合わせて250名の児童生徒が通っていますが、10年後は児童生徒数が減少するとの話がありました。

○市長

7月1日から各学校へスポットクーラーを配置しました。文部科学省には体育館のクーラー設置補助があるようですが、本市の体育館の密閉度が補助基準に達していない状況です。資料のように、各体育館は築年数が経っている状況ですが、箒根学園の話を見ますと、体育館7億円ということですので財政計画も難しいところです。

また、森委員からお話のあった統廃合の答申についてですが、約10年前の答申となりますので、内容について現状に合うものをお考えなければなりません。

○渡邊委員

統廃合の話を進めていくのであれば、これから学校に入る子を持つ親などの意見を積極的に聞くようお願いいたします。

○教育長

行政側が押し付けるのではなく、保護者、地域の意見を聞いていければいいのではないかと思います。

○市長

それでは、2つ目の議題、小学校社会科副読本『のびゆく大田原』の改訂について とうづります。学校教育課の浅羽指導主事からご説明申し上げます。

○浅羽指導主事

（説明）

○市 長 それでは説明が終わりましたので、ご質問やご意見等ありましたらお願いいたします。

○森委員 このような資料は、他市町も作成しているものなのでしょうか。

○教育長 はい。小学校3・4年生で地域のことを学習します。他市町村もそれぞれの状況に応じて作成しています。

○深澤委員 今後も中身を充実させ、大田原市を愛する子どもたちが増えるといいですね。

○渡邊委員 普通に読んでも面白い資料ですね。大人が読んでも勉強になると思います。

○市 長 学芸員等の知識も盛り込みながら、より充実していくとよろしいかと思えます。

ほかに質問や意見はないようですので、以上で議題を終わります。

皆様のご協力のおかげで、滞りなく議事が進行できました。

今後も市政に対し変わらぬご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。本日の皆様からの貴重なご意見は、行政運営の参考とさせていただきます。

ここで、議長の任を解かせていただき、進行を事務局にお返しします。

○教育総務課長 貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

次に、次第4その他に移りますが、皆様から何かございますか。

それでは以上をもちまして、第1回総合教育会議を閉会いたします。

閉会 （午後2時40分）